

地域の教育活性化とスクールリーダー ーウェルビーイング循環編ー

愛媛大学大学院
教授 露口健司



独立行政法人教職員支援機構

ウェルビーイング循環編 目次

- 1 ウェルビーイング視点から見た地域の教育活性化
- 2 ウェルビーイングとは？
- 3 子供のウェルビーイングと認知的／非認知的スキル
- 4 子供の1日のウェルビーイングの推移
- 5 子供の成長を支えるつながりの単位
- 6 子供たちが支える地域のウェルビーイング
- 7 地域の人々のウェルビーイングの向上へ
- 8 ウェルビーイングを循環させるリーダーシップ実践



※前作はソーシャル・キャピタル醸成編

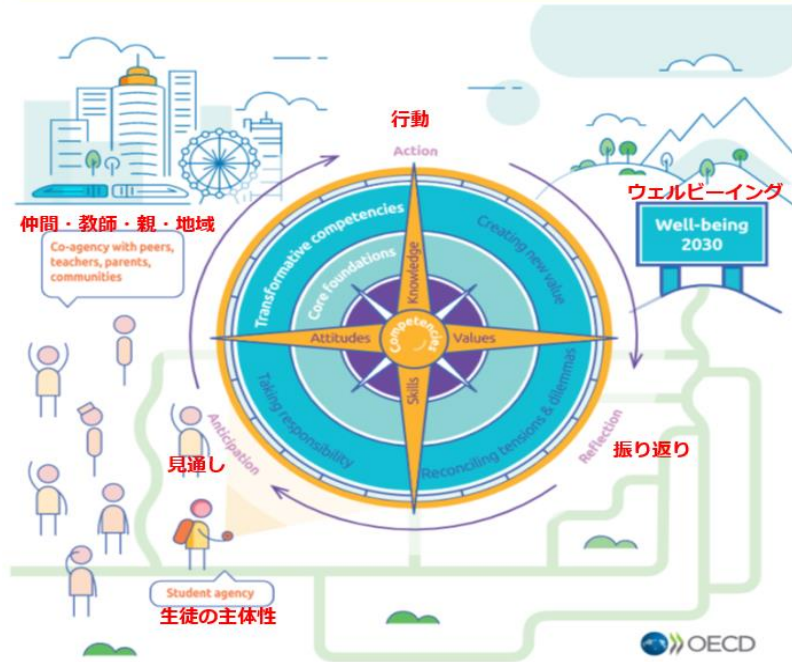


独立行政法人教職員支援機構

1 ウェルビーイング視点から見た地域の教育活性化

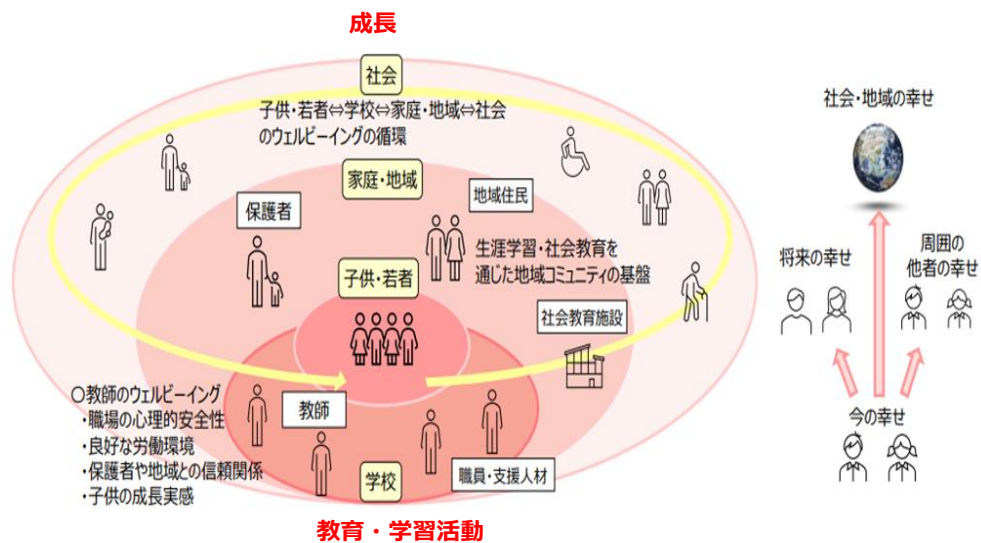
OECD= 到達モデル

The OECD Learning Compass 2030



教育振興基本計画＝循環モデル

※地域内各所での教育・学習活動によって生成されるつながりを通して、人々は成長し、ウェルビーイングが循環蓄積される。



■ウェルビーイング視点からみる地域の教育活性化とは・・・

子供や地域住民が、豊かなつながりの中で、楽しく学び成長することで、私も私たちも、持続的に幸せを実感できる教育・学習活動づくり

※<https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/Learning-compass-2030/>

※<https://www.mext.go.jp/kaigisiryoy/content/000214299.pdf>

2 ウェルビーイングとは?

Well-Being

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること【要素】

※短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む【時間】

※個人（私の幸せ）と集団（私たちの幸せ）がともに幸せを感じられる良い状態を含む【空間】

※楽しくて幸せ（享樂）、学びに没頭して幸せ（成長）の両面を含む【場面】

身体的

健康感

成長感

持続感等



精神的

達成感

充実感

肯定感等



社会的

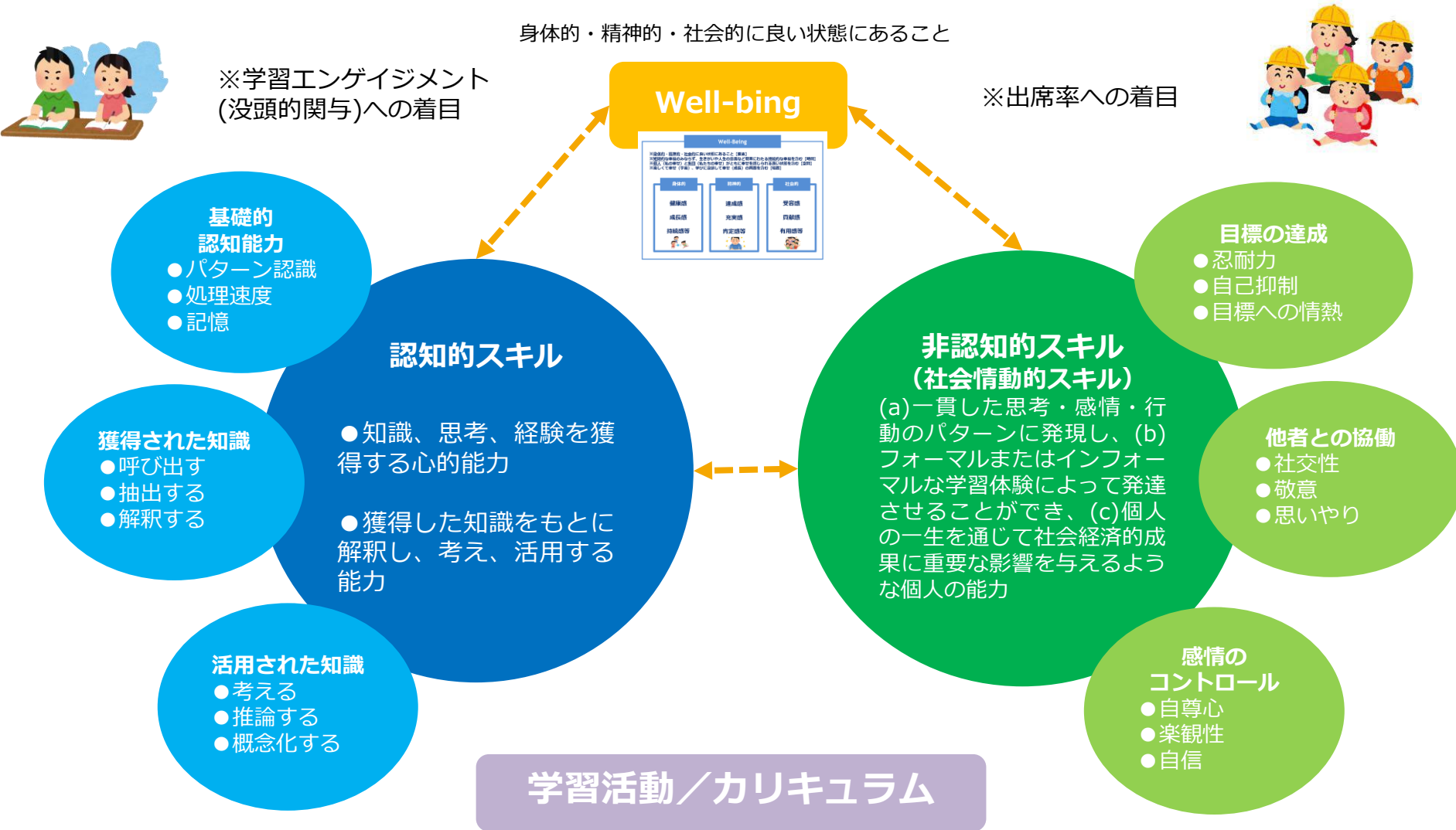
受容感

貢献感

有用感等

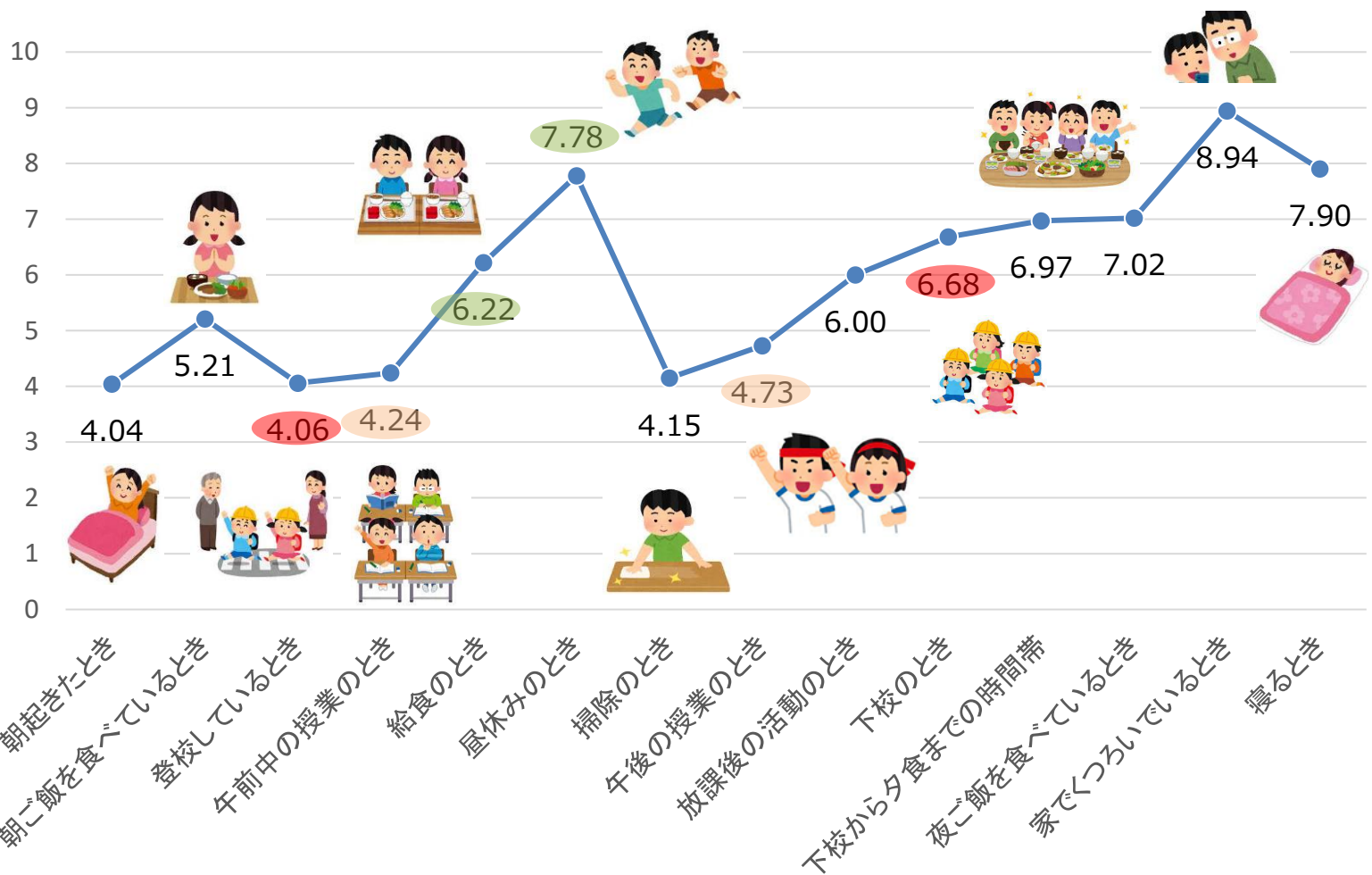


3 子供のウェルビーイングと認知的／非認知的スキル



※OECD(2015).『社会情動的スキル』明石書店を元に作成

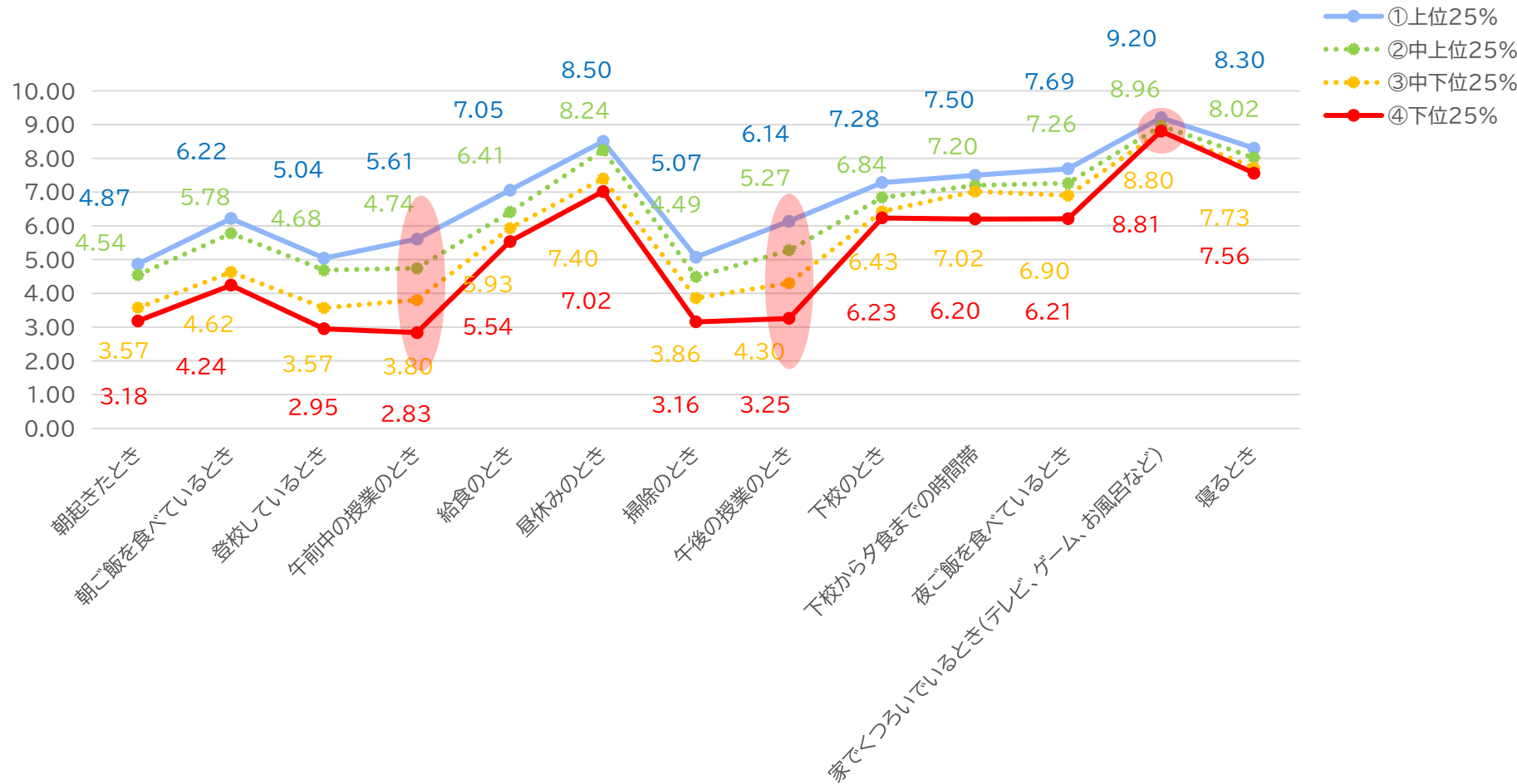
4_1 子供の1日のウェルビーイングの推移



※露口健司(2023). 「地域社会のウェルビーイングを高める社会教育の可能性」 『月刊社会教育』 2023.2, 12-16.

4_2 子供の1日のウェルビーイングの推移

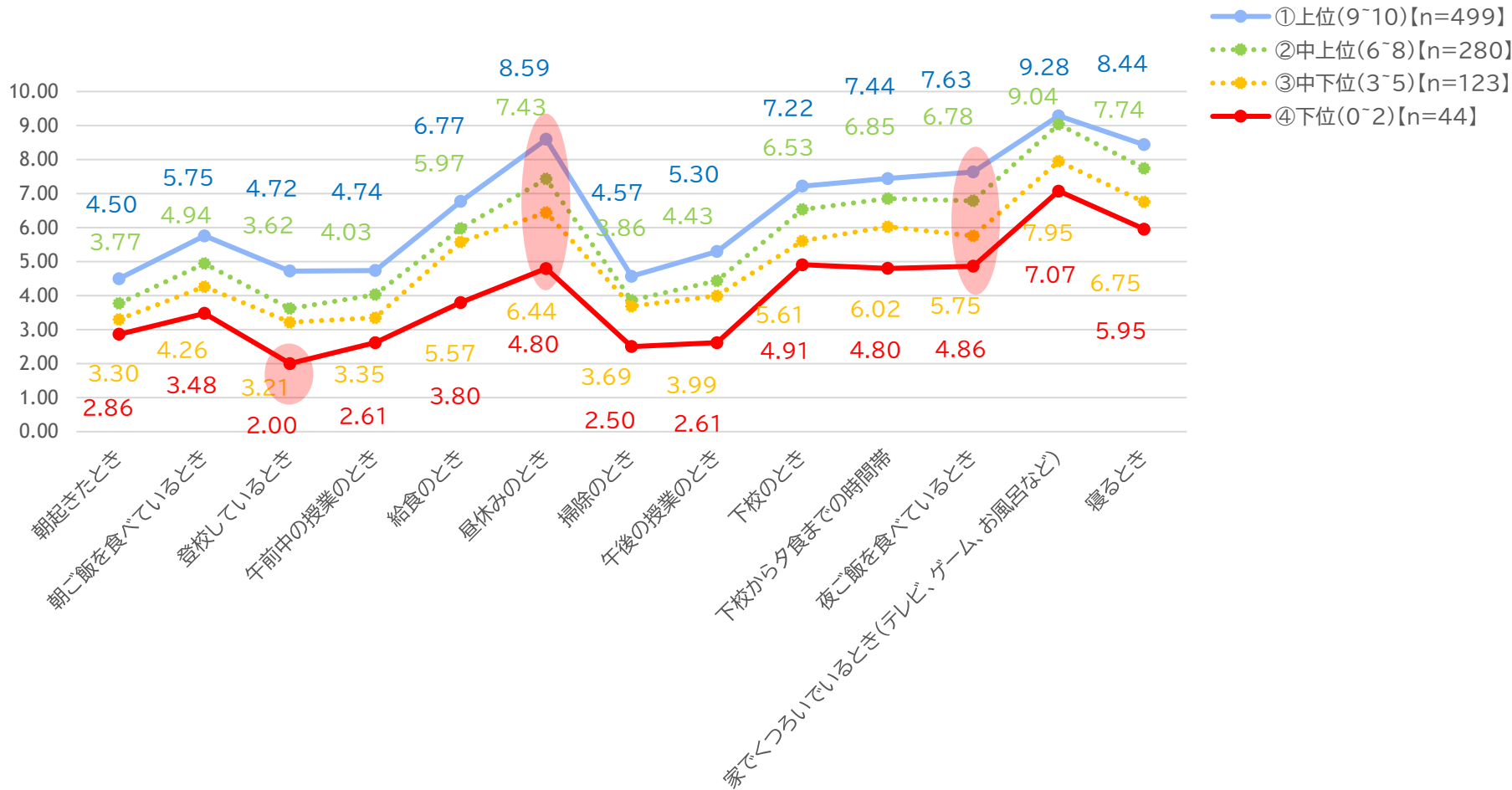
学習意欲・算数×1日のウェルビーイング推移



※露口健司(2023)のデータを使用。2021年11月実施。A県内15校、小学校4-6学年、955人が回答。

4_3 子供の1日のウェルビーイングの推移

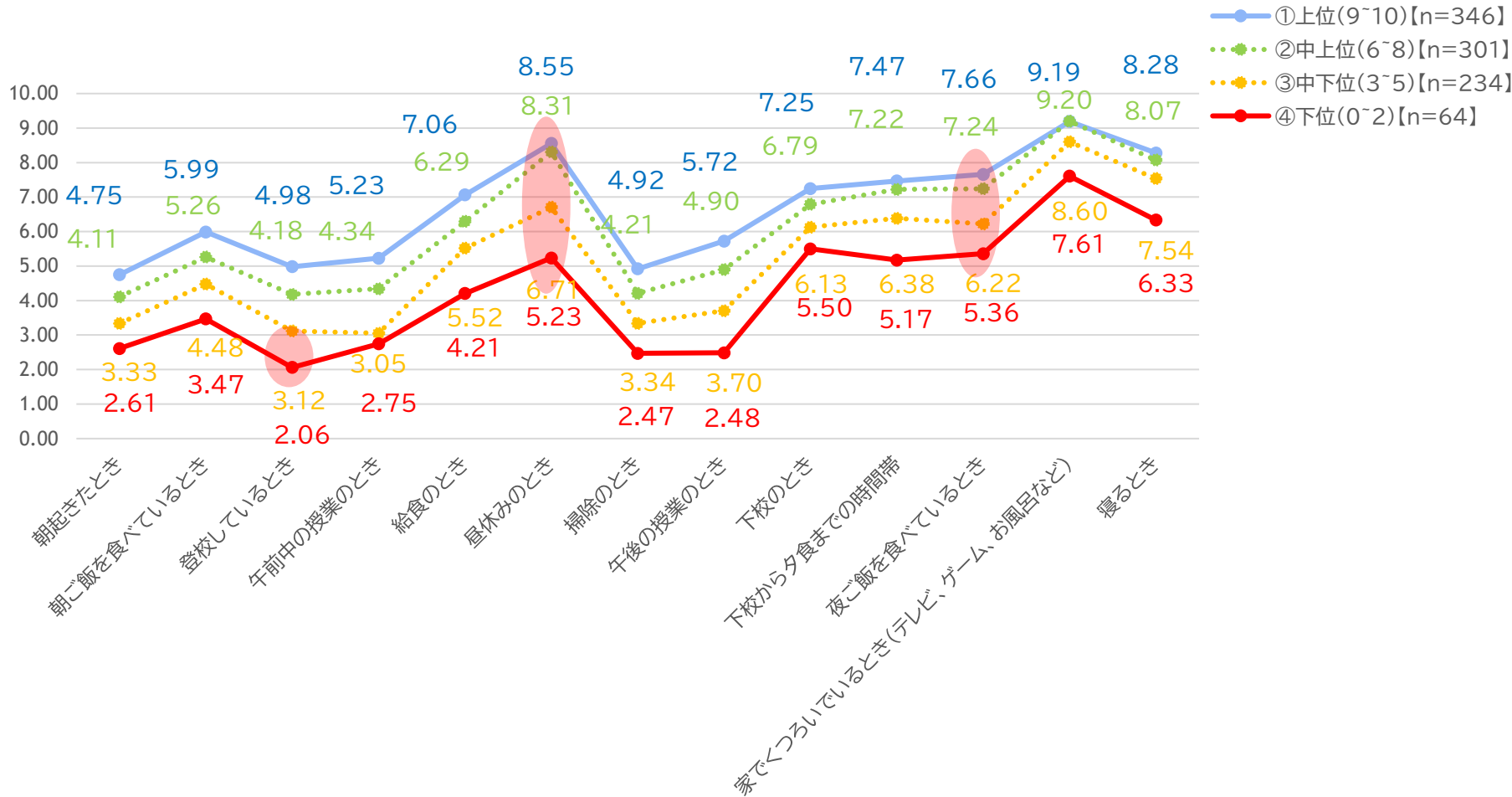
友人への信頼×1日のウェルビーイング推移



※露口健司(2023)のデータを使用。2021年11月実施。A県内15校、小学校4-6学年、955人が回答。

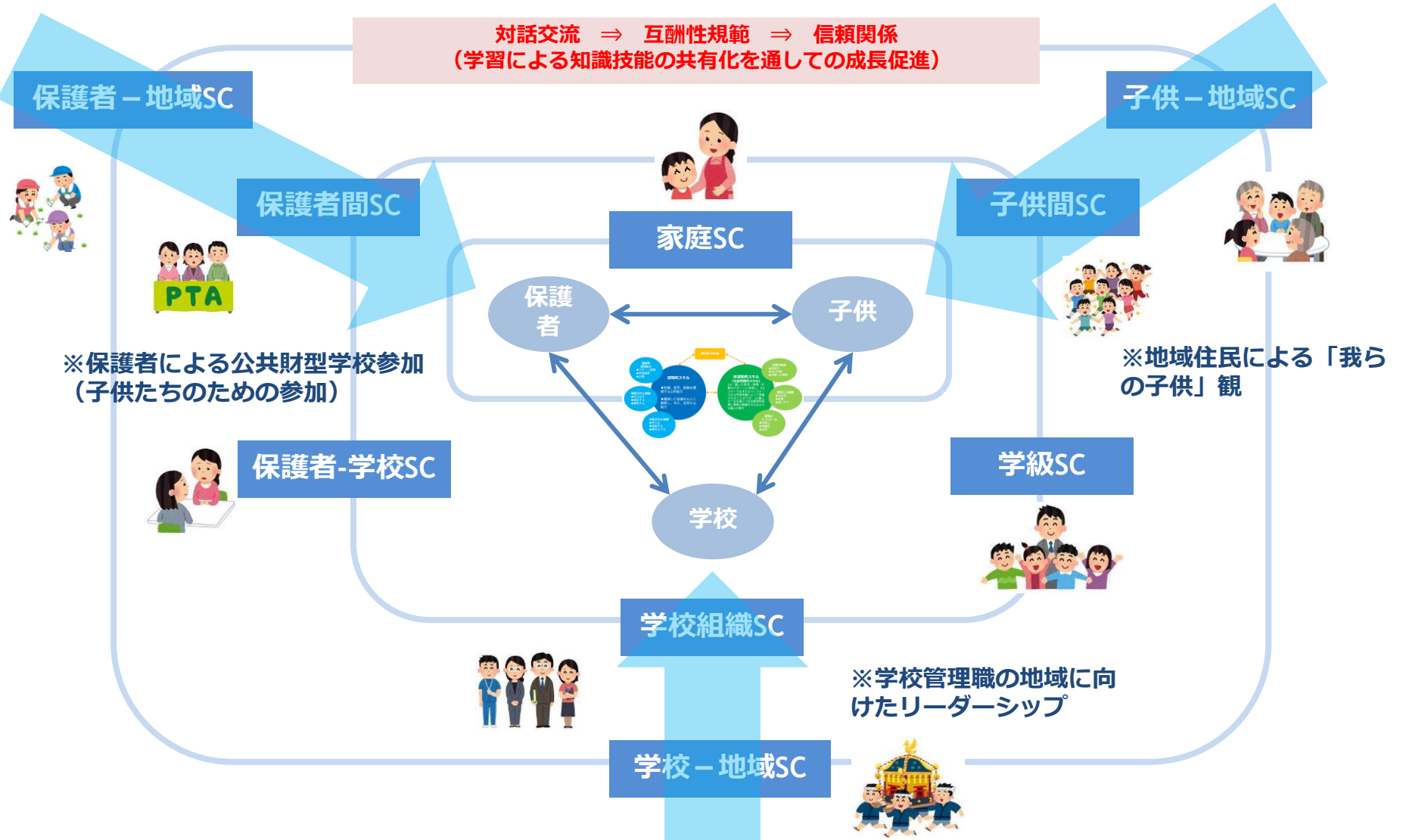
4_4 子供の1日のウェルビーイングの推移

先生への信頼×1日のウェルビーイング推移



※露口健司(2023)のデータを使用。2021年11月実施。A県内15校、小学校4-6学年、955人が回答。

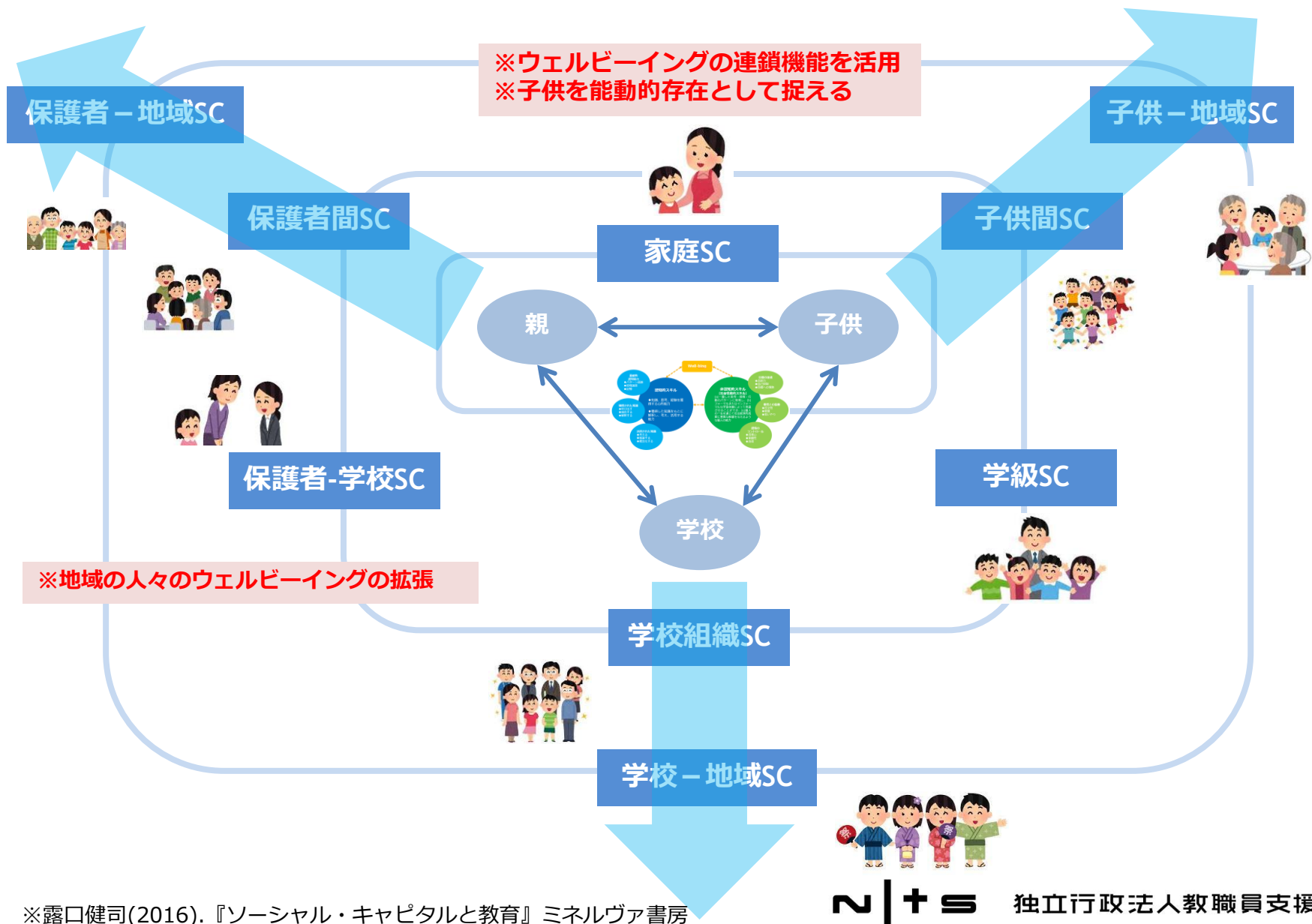
5 子供の成長を支えるつながりの単位



※SC; Social Capital (社会関係資本, 社会的つながりの程度)

※露口健司(2016). 『ソーシャル・キャピタルと教育』 ミネルヴァ書房

6 子供たちが支える地域のウェルビーイング



※露口健司(2016). 『ソーシャル・キャピタルと教育』 ミネルヴァ書房

7 地域の人々のウェルビーイング総量の向上へ

※子供たちと交流することで、下記の意識・態度が醸成され、地域の人々のウェルビーイングが高まる!!

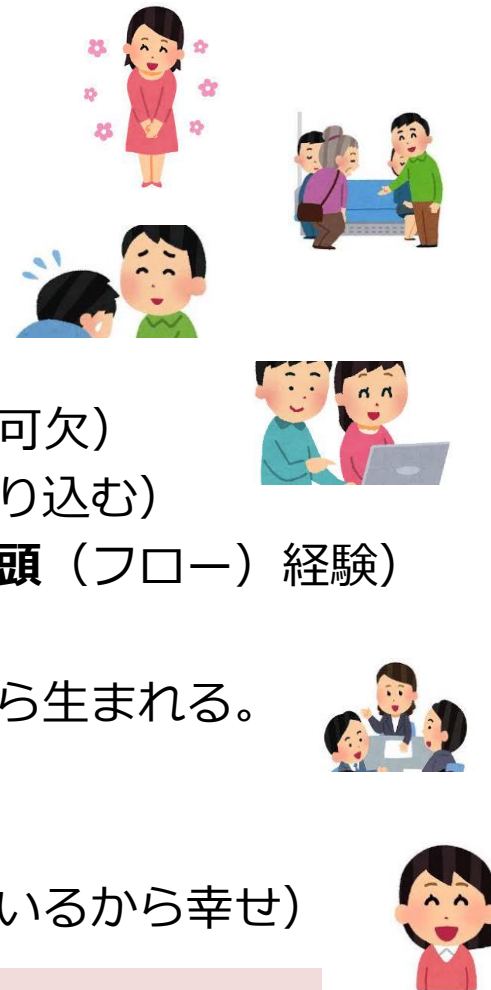
観点	項目例
助け合い	地域の人々の役に立とうとしている。
地域参加	地域のボランティア活動に参加している。
魅力	地域のよいところについて人々と会話する。
社会関係	地域の人々に親しみを感じている。
楽観性	地域には明るい未来がある。
結束	地域の人々は対立を乗り越えている。
交流意欲	地域の人々の名前を覚えるようにしている。
安全	日中に地域を1人で歩くのは安全である。
関与	地域の中で自分の意見を安心して述べることができる。
配慮	地域の人々が必要とすれば、支援を提供している。
再起性	災害等が発生したとしても、すぐに回復できる。

児童生徒
保護者
教職員
地域住民



8 ウェルビーイングを循環させるリーダーシップ実践例

- **感謝**の気持ちを表す（ありがとう言った私が幸せに）
- **楽観的**になる（計画は悲観的に、行動は楽観的に）
- 他者と比較しない（隣の芝生の青さを喜ぶ）
- **親切**に接する（親切に接した私が幸せに）
- 人間関係を育てる（**対話**の時間、スキンシップ）
- ストレスの**抵抗力**を持つ（ストレスは人生において必要不可欠）
- 人を許す（憎悪の感情を取り除き、**寛大と慈愛**の感情を取り込む）
- 熱中できる活動を増やす（天職としての職業観、集中・**没頭**（フロー）経験）
- **喜び**を深く味わう（楽しかった思い出話）
- **目標**達成に全力を尽くす（幸福は目標を追い求めることから生まれる。達成から生まれるものではない。）
- 運動する（仲間との**協調**スポーツが望ましい）
- 笑う、**笑顔**で過ごす（幸せだから笑うのではなく、笑っているから幸せ）



※子供・保護者・教職員・地域住民のウェルビーイングの総量としての
コミュニティウェルビーイングの醸成 ⇒幸せだからうまくいく!! を地域レベルで実現